

独の生徒と音楽交流



楽器の演奏法を教わる児童(山添村で)

山添の小中校生200人

ドイツ・ベルリンの「カニジウス校」のオーケストラ団員ら31人が8日、山添村を訪れ、村立やまごえ小、山添中学校の児童、生徒約200人と交流した。9日まで滞在する。

カニジウス校は、10歳から大学入学前までの生徒が学ぶ中等教育学校。ドイツ内外でのオーケストラ活動で知られ、今回は9月26日から10月13日の日程で来日し、演奏会を開いたり、過去に交流のあった土地を再訪したりしている。

山添村を訪問するのは11年ぶり。山添中の体育館では歓迎セレモニーが行われ、同中の生徒が英語で村の魅力を紹介したり、「ふるさと」をオーケストラの演奏に合わせて合唱したりした。

グループに分かれての交流の時間もあり、児童、生徒は、チェロやバイオリンを弾かせてもらったり、曲のワンフレーズを演奏してもらったりしていた。

英語で歓迎のあいさつをした、同中3年増田誠也君(15)は、「カニジウス校の人たちが拍手や歓声で盛り上げてくれて良かった。オ

ーケストラの演奏に合わせて歌うのはとても貴重な経験になった」と話した。カニジウス校のジル・バンツ

アーさん(18)は、「日本の子どもたちが積極的に質問してくれてうれしかった」と笑顔だった。